

- 1 中東・北東アジア情勢—報道なし
 - 2 国民の生活より「総理の椅子」
 - 3 その他のニュース
-

A（朝日）、M（毎日）、Y（読売）、N（日経）、サ（産経）、H（赤旗）の略号です。新聞以外の記事は扱っておりません。また、外国関係の記事は、全て現地時間に合わせていますので、御留意下さい。

ニュースヘッドライン

1 中東・北東アジア情勢—報道なし

2 国民の生活より「総理の椅子」

☆「小沢政局」と貧困・人間性喪失

12.26 西東京市議選—民主惨敗一定数 28 人、投票率 41.12%、民主 7 候補のうち当選 3 人（前回当選 5 人）、自民当選 6（前同 4）、公明 6 人当選（同 6）、共産 4（同 4）など（12.27 各紙夕刊）

⇒12.27 立ち上がれ日本、連立拒否—議員総会で反対論噴出、与謝野氏孤立（12.28A）

⇒12.27 民主役員会—小沢氏につき通常国会前までに政倫審招致を議決する方針決定（12.28Y）→12.28Y「国会前決着へ『脱小沢』—政倫審招致問題、低空政権脱却狙う」

→12.28 各紙社説

A「民主党の越年—議論の土俵をまず整えよ」

M「小沢氏招致方針—処分も辞さぬ覚悟で」

Y「連立構想挫折—袖にされた民主のご都合主義」／「『小沢問題』越年—逃げ切り狙いなら許されない」

N「政治への不安強めた民主党政権の 1 年」

H「小沢氏と民主党—国会での証人喚問を逃げるな」

⇒12.28 小沢氏、政倫審出席表明（記者団）—「国会運営と選挙が最大の問題。進んで出る決断をすることが良かろうと判断した」「（ただし）私が（政倫審に）出席しなければ国会審議が開始されない場合は、通常国会の冒頭にも出席する」「出席が国会審議のための主たる条件でなければ、予算成立後に出席する」→12.29M「小沢氏が政倫審出席表明、国会正常化が条件—離党圧力受け転換、『仙谷切り』首相に突きつけ」「『無条件』迫る首相、『責めの改造』に固執—小沢氏、政倫審出席表明」「(社)小沢氏政倫審出席—『遅い決断』をどう生かす」／N

「窮地の小沢氏、くせ球—民主の混迷、一段と—政倫審出席は不透明」／T「小沢氏窮余の一撃、条件付き政倫審出席—官邸側に揺さぶり」／サ(主)「小沢氏と政倫審—本当に疑惑解明なるか」

12.26 A「弧族の国①—弧族の国の私たち—55歳、軽自動車での再起」「個から弧、加速—家族に頼れる時代の終わり—2020年代、団塊ジュニアも後期高齢者、死亡が出生の倍／2030年代、団塊シニアも中高年、独居4割に迫る」「孤独死、40年代から高リスク—東京23区監察医務院調査—単身男性、自殺率突出」「街のアパートで一人また一人、『気付かないもんだね』」→12.27A「婚活、上海で結婚したが—弧族の国②」「赤い糸、今日も見つからなかった—『やはり孤独死かなあ』」→12.28A「失職生きる力も消えた—弧族の国③」「働きたい、人とつながりたい—崩れていく、プライドが」→12.29A「39歳の餓死—弧族の国④」「『たすけて』言い出せるまま—母なくし断たれた支え—救いの手にすがる難しさ」→12.30A「弧族の国⑤彼は無表情だった」「居場所を探す、宗教にネットに—現実、見ないようにして」→12.26M「総合失調症、腸閉塞で119番—受け入れ先なく死亡、13病院に要請、東京都内昨年2月—心身合併症、減る受け皿」→12.27M「救急現場『体制に限界』—総合病院と精神病院、連携必要指摘も」→12.29A(社)「斜陽の年—興隆、衰退そして再生へ」→12.30M「『受け入れ先刑務所だけ』—窃盗などで服役8回→2人殺害死刑確定、49歳知的障害の男—家族頼れず、福祉とも無縁」

⇒12.28 完全失業率 5.1% (総務省発表—11月) / 有効求人倍率 0.57 (厚労省発表) / 完全失業率—男性 5.4% (対前月同)、女性 4.7% (対前月 0.1%高)、完全失業者数 318万人 (同13万人減)、就業者数 6,252万人 (同8万人減) (12.28A夕)

⇒12.28 非正規失職 30万人に (厚労省発表、12.17時点の調査) —派遣切りなどで08.10から来年2年半の間に仕事を失ったか、失う見込みの非正規労働者は30万737人 (11月調査時より2,188人増)、該当事業所数は75ヵ所増、5,920事業所 / 都道府県別—愛知県4万8,689人、東京都1万9,766人、静岡県1万1,838人、長野県1万1,605人、神奈川県1万873人→12.30M「『派遣村』なき年越し、行政のはざま支援手薄—ハローワークで臨機対応—政府党内抗争、関心が低下」／H「中小正社員訴え激増、賃金問題がトップに—残業代出ぬ・理由も示さず2割減給、全労連・労働相談」「命の叫び、現場から、東京・蒲田福祉事務所—生活保護1200人殺到、支給日の1時間15分に—『空腹、一刻も早く』」／T「『昨年以上』厳しい年越し—ハローワーク2年連続延長、宿泊施設の提供も—行政、殺到恐れPR及び腰—支援の市民グループ『積極利用を』」→12.3A「派遣村なき年末—失業1年超128万人、職業訓練でも支えきれず」「派遣切り再発の懸念—法改正進まぬ間に求人増」

3 その他のニュース

12.27 確定死刑囚 111人 (法務省調べ) —今年1年間に死刑9人が確定—合計111人で、過去最大67年12月の107人を超す (12.27M夕)

☆郵便不正事件「不正」結末と日航「不当解雇」

- 12.27 大林宏検事総長、辞職—郵便不正証拠改ざん・隠蔽事件で／村木厚子・厚労省元局長（55）、国賠訴訟を提起—国と大坪弘道前特捜部長ら3人を相手取り約3,600万円の損害賠償を請求（12.28M）
- 12.27 日航不当解雇撤回、国民支援共闘会議結成（12.28H）
⇒12.28日航、170人の整理解雇を発表—12.31付解雇（12.29T）／日航パイロット58人、原告団結成（12.29H）
- 12.28 警官暴言「正式裁判で」—大阪簡裁、9.3遺失物横領事件で大阪府警東岩署警部補（34）が任意取り調べの男性に暴言—「家にもガサかけるぞ」「人生をむちゃくちゃにしたる」「手出さんと思ったら大間違いやぞ」（被疑者がポケットの中に入れていたICレコーダが録音）→警部補と取調室に一緒にいた男性巡査部長について特別公務員暴行陵虐容疑とテープレコーダーのデータを消させようとした証拠隠滅容疑で大阪地検特別部に告訴（12.28A夕）→12.30A（社）「警官の暴言—任意調べも権利の徹底を」
- 12.31 各紙社説—年末に当り
- A「年越し支援—行政は柔軟な対応を」
 - M「2010年を振り返る—動かぬ政治に終止符を」
 - Y「科学技術政策—研究投資を経済成長に生かせ」
 - N「危うさ抱えて越年する世界経済と市場」
 - T「亡びる国・栄える国—大晦日に考える」
 - サ「中国漁業監視船—弾力な対応策が急がれる」
 - H「年の瀬に—たたかい強め、希望を聞こう」